

クラシノコアゲ応援団県内統一街頭行動 第27弾 (6/7)

賃金水準を追求する闘争を強化し、交渉を進めている 働く職場では過労死、賃金未払い、ハラスメント被害等多くの問題が山積 諸課題の解決と福島県の復興・創生に向けオール福島の一員として取り組む



連合福島を代表して挨拶する加藤光一事務局長

連合福島は、2015年12月にクラシノソコアゲ応援団を組織し、この間毎月1回継続的な取り組みを展開しており、この程6月7日(金)16時45分～福島市内福島駅東口のエスタビル前及び福島駅西口ザ・セレクトンホテル前の二会場において、第27弾の街頭行動を実施した。

福島駅東口では、クラシノソコアゲ応援団の立場で加藤光一連合福島事務局長が「2019春季生活闘争では、賃金の上げ幅のみならず賃金水準を追求する闘争を強化し取り組んできた。同時に正規・非正規を問わず、長時間労働を是正し、個々人のニーズに合った多様な働き方を選択できる仕組みを整えるなど、総ての労働者の立場に立った働

き方の実現に向け、組織一体となった取り組みを進めてきており、現在も交渉を行っている組織がある。4月から改正労働基準法が施行され、罰則付きの残業時間規制、年次有給休暇5日間の時季指定取得義務、労働時間の客観的な把握が義務づけられた。今、働く職場では過労死、賃金未払い、ハラスメント被害等多くの問題が起きており、連合福島に寄せられる労働相談は年間200件を超えている。連合福島は、山積する諸課題の解決に全力で取り組むと同時に、これからも福島県の復興・創生に向けオール福島の一員として取り組む決意であり、市民の皆様のご支援をお願いしたい」と挨拶した。



福島駅東口での街頭行動



福島駅西口での街頭行動

続いて、立憲民主党福島県連の高橋秀樹幹事長並びに社民党福島県連・紺野長人代表から、連帯のあいさつをいただいた。連合福島としてのアピール演説は、鈴木克明副会長(JEC連合)、国分康正副会長(自動車総連)、箭内孝仁県中地域担当部長がそれぞれ、働き方改革、36協定の適正締結、格差是正、最低賃金の課題と引き上げの必要性、奨学金制度拡充などについて訴えた。

(裏に続く)

(表より続く)

【JR福島駅東口】



左から、司会を務めた連合福島・阿部薫副事務局長、連帯のご挨拶をいただいた立憲民主党福島県連幹事長・高橋秀樹福島県議会議員、同じく社会民主党福島県連代表・紺野長人福島県議会議員、「働き方改革、労基法の改正点、最低賃金引上げ等について訴えた連合福島・鈴木克明副会長



「最低賃金のチェックを訴える」チラシ入りティッシュを市民の皆さんに配りました

【JR福島駅西口】



左から、司会を務めた連合福島・遠藤徳雄副事務局長、応援団を代表して挨拶した連合福島・国分康正副会長、応援団の取り組みを紹介した県中地域連合・箭内孝仁地域担当部長



「最低賃金のチェックを訴える」チラシ入りティッシュを配り、決意をガンパローの掛け声でアピールしました。